

全国植樹運動の発祥地を拓く道普請プロジェクト（1期事業）

「荒れた国土に緑の晴れ着を」をスローガンに始まった全国植樹祭に引き継がれた全国緑化の国民運動。「緑化の原点」といわれる、この植樹運動が戦前に筑波山麓でスタートして今年80年を迎えました。そこで、全国の森づくり団体が筑波山麓に集まり、「全国緑化行事発祥の地」石碑まで誰もが往来できるよう、第1回植樹の当時の作業道（大臣道、茨城県桜川市真壁町～石碑）を修復する、道普請プロジェクトを立ち上げました。森林、林業の重要性と、緑化に努めた先人の功績を伝え、よりよい森林環境を次世代に引き継ぐのが目的です。

実施概要

名 称	「全国植樹運動の発祥地を拓く道普請プロジェクト」	
主 催	公益社団法人国土緑化推進機構、公益社法人大日本山林会、東京農業大学 毎日新聞社、NPO法人地球の緑を育てる会	
共 催	桜川市、全国森林組合連合会、社団法人全国森林レクリエーション協会、社団法人日本治山治水協会、公益社団法人茨城県緑化推進機構 NPO法人時ノ寿の森クラブ、筑波山神社	
後 援	茨城県	(林野庁補助事業活用)

【事業計画】

事業区間	桜川市真壁町東山田から椎尾林道下の発祥地石碑（鬼ヶ作国有林・真壁町羽鳥）に至る、旧大臣道（桜川市管理道及び国有林作業道）の総延長約2kmで実施
事業内容	台風などによる風倒木と松枯れ、崩落などで荒廃し往来が困難な旧大臣道の修復
作業内容	（1）風倒木や松枯れ倒木の撤去（2）草木、蔓の除去（3）崩落カ所の対策 （4）小川や沢の仮橋の補修（5）急緩斜面の作業道補修（6）石碑の清掃等
参加団体	北海道千年の森プロジェクト(小樽市)、NPO法人白神山地を守る会(青森県鯉ヶ沢町)、奥州万年の森をつくる会(岩手県奥州市)、南三陸山の会(宮城県南三陸町)、NPO法人川内NPO協働センター(福島県川内村)、NPO法人時ノ寿の森クラブ(静岡県掛川市)、田口造型音響(東京都)

問い合わせ 毎日新聞社水と緑の地球環境本部 山本悟

直通：03-3212-0868／携帯：090-4858-9198

NPO法人地球の緑を育てる会理事長 石村章子

携帯：090-7840-0496